



時代のニーズに合わせ、素泊まりでも稼働率の高い宿へ。
週末は満室、平日の予約も順調！

老舗和菓子店が営む宿、休業から再出発 に向けて増販増客取り組み開始！

株式会社群馬マーケティングセンター
群馬企画塾
取締役 沼澤啓吾
(群馬県高崎市)

群馬県吾妻郡草津町にある「有限会社旅館萬年」は、昭和38年に草津温泉の湯畑近くの老舗和菓子店「清月堂」の女将の父親が開業した宿で、湯治場の長期滞在客が多い宿として営業されてきました。

しかし、当時の社長が体調不良になったことで、平成16年から約11年間休業しており、旅館の老朽化が深刻な状況にありました。また、施設はロビー・風呂3室・客室11室・宴会場・厨房・事務所・駐車場などで構成され、旅館機能は完備しているものの、客室に洗面・トイレが無く、室外の共同施設を利用する形態であるため、旅館の再稼働を検討するにあたり、近隣の競合旅館と同レベルの施設を整える必要があり、資金面を考えると見通しが立たない状態にありました。

ところが近年、温泉ブームや旅行形態の多様化、湯畑周辺の街並み景観の整備が進んだこともあり、若者や個人旅行者を中心に再度注目を浴びる温泉地へと変化を見せ、宿泊スタイルが従来の1泊2食付きから、夕食は食べログやSNSなどで情報を得て外食をするという、1泊朝食付きや素泊まりの宿に対するニーズが増加してきていました。